

衆議院外務委員会ニュース

平成 26. 4. 11 第 186 回国会第 11 号

4 月 11 日（金）、第 11 回の委員会が開かれました。

1 国際情勢に関する件（沖縄基地問題）

・岸田外務大臣、武田防衛副大臣、若宮防衛大臣政務官、小松内閣法制局長官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

松本剛明君（民主）

- ・日米地位協定に基づく米軍関係者の刑事裁判手続に関して、2011年11月24日以降の運用改善に係る実情を詳細に把握・検証し、米側による懲戒処分結果について被害者が公表を求めている場合は、開示されるように政府としても米側との交渉に努力すべきではないか。
- ・国際司法裁判所（ICJ）での「南極における捕鯨」訴訟において我が国が敗訴した原因と、それを踏まえて今後我が国として ICJ に対してどのようなアプローチで臨むのかについて伺いたい。
- ・国際法上、集団的自衛権行使の一要件である「武力攻撃を受けた国と密接な関係にある国」について、どのような背景・経緯により要件化されたのか。また、政府は自衛のための必要最小限度を超えるため我が国は憲法上集団的自衛権を行使できないと解釈しているのか。政府は必要最小限度の具体的な程度をどのように考えているのか。

阪口直人君（維新）

- ・昨今の国際情勢の変容の中における民主化支援の方針について、岸田外務大臣はどのように考えているのか。
- ・カンボジアでは昨年の総選挙後、野党が選挙での不正を主張し議会で審議をボイコットするなどしたが、現在のカンボジアの政局に対する政府の認識について伺いたい。
- ・我が国がウクライナ暫定政権に対し支援を実施するに当たっては、少数民族の権利を尊重するよう条件を付すべきではないか。

村上政俊君（維新）

- ・政府は、どのような理由から、オバマ米大統領を国賓として招くことを決めたのか。
- ・2014年4月上旬に、公賓として来日したアボット豪首相は、国家安全保障会議（NSC）特別会合（2014. 4. 7）に出席したが、同特別会合のどのような趣旨で開催され

たのか。

- ・外国からの武力攻撃には至らないが、海上警備行動等の警察権では対処できない事態、いわゆる「グレーゾーン」に関する問題について、外務大臣はどのような見解を持っているのか。

青柳陽一郎君（結い）

- ・これまで沖縄県民の理解を得ることができていないがために普天間飛行場移設計画は進んでいないが、政府は、今後、普天間飛行場移設計画を進めるため、どのようにして沖縄県民の理解を得ていくつもりか。
- ・名護市長選挙の結果が出た後、菅官房長官が、普天間飛行場の辺野古移設をたんたん進める旨発言しているが、この発言に対して外務大臣はどのように評価しているか。
- ・妨害行為等物理的抵抗によって、普天間飛行場移設計画が止められた場合、政府はどのように対応していくつもりか。

笠井亮君（共産）

- ・HH-60（救難ヘリコプター）の墜落、F-15 戦闘機の風防ガラスの落下、AH-1Wヘリコプターの揚陸艦への着艦失敗など、米軍機による事故が多発し、那覇市、宜野湾市等で事故原因の究明、情報の公開等を求める意見書、抗議が相次いでいることについて、岸田外務大臣の所見を伺いたい。
- ・嘉手納基地所属のF-15 戦闘機の風防ガラス落下の事故から数日で同戦闘機は飛行を再開したが、事故原因が明らかでない段階で日本政府はなぜ飛行再開を許したのか、伺いたい。
- ・辺野古の新基地に配備予定の航空機は同機種のもので日本の国内外で 110 件程度の事故を起こしている。これでは普天間飛行場を移転しても沖縄県民への危険性は除去されないのではないか。

玉城デニー君（生活）

- ・海兵隊の沖縄からグアム等への移転に関して、海兵空地

任務部隊（MAGTF）として、沖縄に残留する部隊の要員、施設、装備等の計画について現状を伺いたい。

- ・政府は、2014年2月12日に、参議院議員糸数慶子君の質問主意書に対して、米軍普天間飛行場の辺野古への移設を「唯一の解決策」であるとの認識を示した答弁書を閣議決定したが、政府が唯一の解決策と考える根拠となる調査を実施し、その調査報告書を保管している部署を

伺いたい。

- ・MV-22 オスプレイの訓練移転について、民間空港の使用は予定しているのか、例えば、現在工事中の那覇空港第二滑走路について、完成後の米軍機の使用について伺いたい。

2 意匠の国際登録に関するハーグ協定のジュネーブ改正協定の締結について承認を求めるの件（条約第6号）

1979年9月28日に修正された1968年10月8日にロカルノで署名された意匠の国際分類を定めるロカルノ協定の締結について承認を求めるの件（条約第7号）

南インド洋漁業協定の締結について承認を求めるの件（条約第8号）

2004年の船舶のバラスト水及び沈殿物の規制及び管理のための国際条約の締結について承認を求めるの件（条約第9号）

視聴覚的実演に関する北京条約の締結について承認を求めるの件（条約第10号）

- ・岸田外務大臣から提案理由の説明を聴取しました。